

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ハビーセンター北教室		2025 年 10 月 1 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・支援やイベントにおいて、スペースや職員配置を考慮し、受け入れ人数を調整しております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	・ご利用者様の来所、退所の際にはなるべく多くの職員で対応し、あたたかな雰囲気づくりに努めております。 ・様々な職員が支援を担当できるようにしております。	・平日と土日で職員の出勤人数に偏りがあります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	・支援室の中には余計なものを置かない、ドアの開閉は指導員に伝える、視覚提示するなど考慮しております。	・時計の位置を利用者様が見やすい高さ（もっと低いところ）に設置したいと思っております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	・日々の清掃や適宜修繕をして対応しております。	・壁紙の汚れ、フロアマットの臭いが気になります。大きい窓のある部屋やスペースはエアコンが効きにくいです。 ・ホワイトボードマーカーを利用者様が使うことについて、もう少しルールを設ける必要があるかもしれません。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	・集団活動において、適宜パーテーションを使用しながらクールダウンのためのスペースを設定しております。	・個別支援時には可能ですが、集団支援の際は場所や人手の関係で対応が難しい場面もあります。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	・毎年担当業務を入れ替えることで、業務の改善とよりよい進め方を構築し、引き継いでおります。	・定期的な振り返りの機会を設けることで、業務改善を行ってまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・直近ではご利用継続の理由に関するアンケートをとったことで、今現在の保護者様のお考えを知ることが出来ております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	・職員会議や日々の共有によって意見を出し合い、業務改善を行っております。	・職員の意識がそれぞれ違うこともあります。 ・月に1回の教室会議では全員の意見を把握することは難しいです。 ・週に1回、自分が抱えている業務の進捗を上長に自主的に報告するなどの仕組みが必要だと思います。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2	・年に1回の自己評価と保護者様からのご意見をいただいております。	・第三者評価は実施しておりませんが、自己評価はしております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・他教室の職員と意見交換もでき、有意義な機会があります。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・ホームページにて公開しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	・丁寧に時間をかけて、保護者様のお話を聞く時間を設けております	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・必ず会議を実施し、参加者全員から意見をもらっております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・支援前には、必ず目を通して、目標と課題を確認しております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	共通のツールとアセスメント技法の習得に向けた研修を行っております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・家族支援では、積極的にオンライン家族支援のツールを活用しております。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	3	・イベントなどは複数の職員で検討しております。 ・各々が個別支援計画や記録を確認し立案する形がとれておりますが、相談し合える環境があります。直近で支援を担当した職員に様子を確認するなどしております。	・土日など支援数が多い時には一人でプログラムを考えることもありますが、個別支援計画や前回の支援内容を踏まえてプログラムを考えております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	・同じ活動を続けて取り入れることで、見通しが立つ等のメリットもあるため、あえて固定化していることもあります。ねらいを変えて反復するなどの工夫は重ねております。	・お子さまが飽きないようにプログラムの工夫をしておりますが、同じ活動が続いてしまうことも稀にあります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・適切なタイミングを見計らって、ご利用形態の打診しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	・集団支援を複数の職員で行うときには、必ず事前に打ち合わせをしております。	・集団支援前には必ず打ち合わせをしておりますが、共有不足だったと感じることもあります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	・終礼にて、共有すべき支援内容をアウトプットする習慣が職場でできております。	・記録での共有のみになることもあります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・全ての支援について記録を徹底しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・3か月に1回の保護者様との面談や、半年に1回以上のモニタリング実施をしております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	・園連携では、担当の職員が対応し、園の先生と必要に応じてお子さまの状態を共有しております。	・自分一人に対応することに不安を感じることもあります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	・年長のお子さまにつきましては、就学先との連携も行っております。	・他事業所や園との連携は積極的に行っておりますが、医療機関との連携を実施したことはありません。必要に応じて実施してまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・関係機関連携の必要性について保護者様にもお伝えし、実施しております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・保護者様からの依頼を受けて、ハピー独自の引継ぎシートを作成しております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	3	・児童部会主催の発達センター意見交換会に参加しております。	・保護者様から支援計画の共有をいただくケースはありますが、直接のやりとりは少ないと思います。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	7	・関係機関連携を実施する際に他のお子さまと活動する様子を見学しております。	・教室解放イベントを実施するなど工夫が必要だと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・保護者様へお声掛けをし、一週間の様子をヒアリングしております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	・ペアレントトレーニングの実施、年長集団の保護者座談会など、今期新たな取り組みを始めております。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・契約時には、丁寧に伝えるべき箇所を事前にチェックして漏れないようにしております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・アセスメント面談でお聞きしたうえで個別支援計画を作成しておりますが、提示の際に保護者様からの疑問や意見があった際は、丁寧に聞き、計画の内容に反映し直しております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	1	・個別支援計画交付時には面談を行い、書面での同意を得ております。	・具体的にお伝えするための努力をしておりますが、説明が不十分だったと感じることもあります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・中間評価面談を定期的に実施しております。 ・毎回のフィードバック時間に気になるお話があった場合には、こちらから面談の設定を打診しております	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1	・年長児保護者様の座談会を今年初めて実施しました。今後も拡大していけるとよいです。 ・ペアレントトレーニング、OBOG会などの開催。夏祭りなどのイベントに兄弟姉妹も参加できるようにしております。	・参加される方に偏りがないように、時間の工夫をしています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・お部屋の空き状況を確認し、迅速に対応できるようにしております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・ブログを週1度以上更新し、最新の支援の内容をアップしております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・個人情報が書かれている書類は鍵のかかるキャビネットで保管しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・プログラムの可視化や連絡アプリを活用しております。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6	・現在計画中です。	・今まで実施できていないので、イベントの企画を進めております。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・避難訓練を支援内容に盛り込んで行っております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・社内全体で取り組んでおります。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1	・ご契約時にお子さまの状況について確認しております。	・服薬や予防接種までは把握できておりません。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	・アレルギーの把握はしており、食べ物の提供がある際には何を扱うかの周知を行い、事前確認を徹底しております。	・お医者様からの指示書を受け取ったことはありません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	・定期的に研修を実施しております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	・お子さまの安全確保について職員間で共有しております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・定期的に共有しております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・定期的な研修機会を設けております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	・ガイドラインを設けております。	